

科目番号	50005	分類	共通科目	履修者	看護学研究科(共通科目)	学年	
科目名	研究特論 (Theory and Methodology on Research)					1	
						配当セクター	
						前期	
担当者	○今井 秀樹・田中 留伊・関屋 伸子・朝澤 恭子・高木 晴良・佐藤 潤・小宇田智子	区分	必修	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標					学位授与の方針との関連		
【概要】 看護研究における初歩的な研究テーマの設定法、データ収集法、倫理上の配慮など、研究を進める上で必要な知識の理解を深める。また、研究成果を学会あるいは学術誌に発表するためのプレゼンテーションおよび論文作成に関する基本的な手法について修得する。					1. 自律して自然分娩の支援ができる能力		
【目標】 1) 看護における研究の基本的な考え方と進め方を理解する。 2) 研究を進める上で必要な統計知識を理解する。 3) 研究計画書を立案するプロセスおよび倫理上の必須事項を理解する。 4) 研究成果発表の能力を身につける。					2. 院内・院外助産システムを担うことができる能力		
					3. 女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
					4. 周産期の救急時に対応できる能力		
					5. 多職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
					○ 6. 研究・開発能力		
					○ 7. 倫理的意思決定能力		
授 業 計 画							
回	内 容					担当教員	
第1回	看護研究の基本的な考え方と進め方					田中	
第2回	研究テーマの設定					関屋	
第3回	研究の倫理					今井	
第4回	質的研究の進め方1					朝澤	
第5回	質的研究の進め方2					朝澤	
第6回	記述統計、データの種類、データ分析の基本					高木	
第7回	量的変数の分析					高木	
第8回	質的変数の分析					高木	
第9回	順序尺度の分析					高木	
第10回	統計的仮説検定の基礎					佐藤(潤)	
第11回	看護研究で用いられる検定手法①					佐藤(潤)	
第12回	看護研究で用いられる検定手法②					佐藤(潤)	
第13回	文献の検索の方法					小宇田	
第14回	学会におけるプレゼンテーション					小宇田	
第15回	研究論文の構成					小宇田	
事前・事後学習	事前に参考図書で学習しておくことが望ましい。 単位と時間数に応じた学習時間(学生便覧参照)を参考に組み合わせること。						
評価の方法	講義の出席、参加状況によって評価する フィードバックは適宜行う。						
参考図書 ・資料等	◎1) 大木秀一: 量的な看護研究のきほん。医歯薬出版 2) グレック美鈴他: よくわかる質的研究の進め方、まとめ方 —看護研究のエキスパートを目指して—。医歯薬出版 ◎は授業の必修図書ですので、購入していただきます。						
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。						